

会報

NO 180 2023年4月号
(令和5年仏暦2566年)

チェンライ日本人会発行
事務局 jacr15ani@gmail.com



2023 年度定時総会・懇親会

日時 2023年4月30日(日)

受付 10:00～

総会及び安全対策協議会

10:30～

懇親会 12:00～

場所 PHOWADOL HOTEL

(ポワドンホテル)

Tel. 053-718600

会費 総会 無料

懇親会 会員 200B

会員外 250B

※生ビール少し用意します。

アルコール持込みフリー。

★女性部バザー

女性部有志手作りの

野菜販売コーナーを設けます。



総会及び懇親会それぞれの出欠のご連絡を4月21日(金)までにお願ひします。

メール宛先 (瀬戸慶一)

jacr15ani@gmail.com

LINE aboshichiangrai

電話連絡先(菅原博美)

062-739-6906

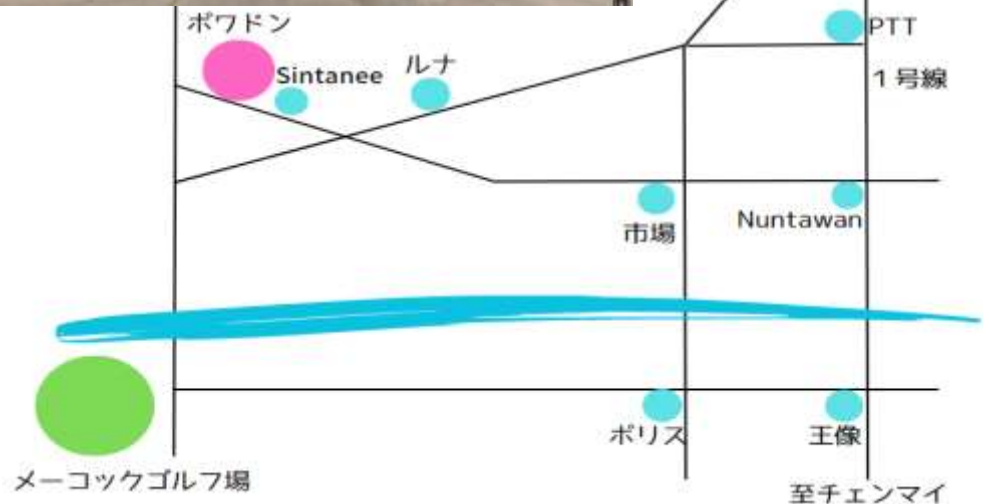
なお、当日、年会費1,000パーツも集めますので、ご用意ください。来られない方は、銀行振り込みをお願いいたします。

振込先銀行 BANGKOK BANK

口座番号 629-016253

-3 KEIICHI SETO

振り込みされた方は、お名前をご連絡ください。ノ



携帯電話(瀬戸慶一)

089-911-4520

メール・LINE(上記に同じ)

2月の臨時総会で選出されました次年度の新役員は2月14日会合を開き互選により次の通り役割分担を決めました。会長 巽谷眞治 副会長 とべじろう 菅原博美 会計 瀬戸慶一 広報 高橋秀明 (敬称略) 尚、3月10日の会合にて事業計画、予算案も話合われ、詳細については別紙の通りです。

新役員ご挨拶

会長

巽谷眞治(たつみや しんじ)



約40年前に初めてタイへ来て、一緒に仕事で来た方の知合いが亡くなって急ぎ葬儀にメーチャンへ夜行バスで来たのがチェンライへ来た初めでした。その後、チェンライへは30年程前に破産し、日本の家族とも縁を

切られ、今の妻に助けられ チェンライの家へ来たのがその次でした。10ヶ月程その村で見よう見真似で生活し、村の手伝いをしていました。食事は当たり前ですが田舎の食物でたまに町へバイクでパン等を買に行くのがせいぜいでした。その頃のチェンライには大型スーパーは無く雑貨屋の大きいのと古い市場が有るのみでした。今はビックCができセントラルプラザができ日本食品の店も有り隔世の感です。私はその後バンコクへ仕事をしに行き、チェンライへは年に2~3回帰る位でした。チェンライへ来た時は平岩さんの米屋や、ブンロート工業団地の中に有ったヤマモリ醤油や、パンに有るフリーズドライ工場のコスモス社へ行くなどしていました。そんな頃約20年前に日本人会を作る話を当時居た小島健さんと有沢剛ちゃんから平岩さんと作る話を聞きました。バンコクに住んでるが会へ入れて欲しいと平岩さんに云いましたがバンコクに住んでる人はダメだと断られ、やっと5年程前に須藤会長の時に入れて頂きました。バンコクで住んでいても夫婦共々心はチェンライに有ったので須藤会長に感謝しています。

海外での日本人の生活は日本国内の生活とは大きく違い、全てが自己責任が原則です。日本人会はそんな状況の中で如何に安全に安心して毎日を暮らし行くかのお手伝いをする組織と考えています。この度会長職を受けるきっかけは日本人会を退会



↑日本人会のホームページが
新しくなりました

アドレスは

<https://chiangrai-u.org/>

された方から「もしあなたが会長になるならまた会に入っても良いかな」と言われ考える様に成りました。

今期はコロナも終焉し、積極的にそれぞれの各地域内のつながりを強くしてお互いに助け合える顔の見える会にして行けたらと思っています。それとチェンマイ在住者クラブさんの葬祭互助クラブ、遺族年金互助クラブを参考にさせて頂き少しでも安心の出来る会へしたいと思っています。

何分にもチェンライで生活し始めて3年足らずでまだ皆さんの顔と名前が一致しないほどでこの大役をお受けする事に成りました。この1月で73歳に成りましたが不勉強で分からない事ばかりです、皆様のご意見ご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



副会長

戸邊治朗（とべ じろう）



生まれは昭和17年11月7日。前年16年12月は、日米開戦の年でした。自分の命は開戦直後に母の胎内に与えられました。治朗と名づけられ、戦争が朗らかに治められるようにとの願いからの命名でした。気の弱い、気後れ気味の少年に育ちました。特に弱いものイジメが嫌いでした。3歳の時、鹿児島で米軍爆撃で家を焼かれ、千葉県野田町の田園に逃れて来ました。以来8年間、東京に引越すまで川で遊び、野山で過ごし、家畜を飼ったりしました。ポケットにはいつも良く研いだ肥後守-小刀がありました。小6の時東京に転校。成績はビリから2番だったので、京都市の母親が鬼になり、特訓。以後、最終学歴の自動車教習学校まで東京でした。

強大権力によるイジメ嫌いは今も変わらず、悪魔のウクライナ

戦争では心が潰れます。
いくつもの戦争が終わったとい
うのに、いつになったら朗らかに
治まるのでしょうか。
自己紹介にかえて。



副会長

菅原博美 (すがわら ひろみ)



お世話に成ります。菅原です。
私はチェンライ日本人会の役員
として活動しており、去年まで3
年間副会長を務めました。

当日本人会の目標は、在チェン
ライ日本人の方々のコミュニテ
ィ形成を支援し、生活の質の向
上に貢献することです。私たち
は、様々なイベントや活動を通
じて在チェンライ日本人の方々
が交流し、情報や知識を共有で
きる場を提供しています。また、
私たち日本人のみならず、
地元の人々とも交流を深め、お
互いに理解を深めることも大切
に考えています。

私自身、日本人会での活動を通
じて多くの出会いがあり、チェ
ンライでの生活がより豊かなも
のになっていると感じていま
す。また、他県の日本人会とも
積極的に交流を持ち、情報やア
イデアを共有しながら、より良
い活動を行っていきたいと考え
ています。

これからも、チェンライ日本人
会の一員として、在チェンライ
日本人の方々がより充実した生
活を送れるように努めてまいり
ます。どうぞよろしくお願いい
たします。



第70回ゴルフ愛好会コンペ



次回の予定についてはグループ
LINEでお知らせします。
メンバー外の方は 須藤会員へ
098-758-0045



チェンライの市場から

中西英樹

※ 本記事は、当会員の中西 英樹
さんのブログからの転載です。

<https://hidenaka24.hatenablog.com/>

老害になりようがない



■老害が生じるには
老害とは「企業や政党などで、
中心人物が高齢化しても実権を
握りつづけ、若返りが行われて
いない状態」を言う。転じて周
囲に迷惑を及ぼしたり、周囲を
不愉快な気持ちにさせる老人そ
のものを指す場合もある。何か
と周囲に害を与えることから、
老害と呼ばれる。うちの会社は
老害で、とか県議会の老害は、
などと批判する人は若い人であ
る。

チェンライに暮らして10年以上
になるが、老害と批難されたこ
とはない。老害は組織の中で発
生するが、自分はまず組織とい
うものに属していない。日本人
会は組織と言えるかもしれない
が、会員の平均年齢は70歳を越
えているのだから、老害と言う
なら全員が老害だ。老害(老
人)は身を引いて、実権を若い

世代に譲れ、こう発言する人は若い人である。日本人会には 60 歳以下の若い会員もいるが数が少ないし、実権を譲られても困るので小さくなっている。周りの若い人と言えはタイ人になってしまうが、こっちは外国に住まわせてもらっている手前、周囲に迷惑をかけるとか不愉快な思いをさせることのないよう自重して暮らしている。だからあの日本老人は老害だよ、と言われてはいない（と思う）。また、親日国であるし、先人の築き上げた日本ブランドもあって、敬意をもって扱われている面さえある。というわけでチェンライの老人は老害と無関係に暮らしている。と言っていいだろう。



■石を投げれば老人にあたる
ところで日本の総人口に占める高齢者人口の割合の推移をみると、1950 年（4.9%）以降一貫して上昇が続いており、1985 年に 10%、2005 年に 20%を超え、2021 年は 29.1%となり、数にして 3,640 万人となっている。
国立 社会保障・人口問題研究

所の推計によると、この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期（1971 年～1974 年）に生まれた世代が 65 歳以上となる 2040 年には、35.3%になると見込まれている。そうすると 3 人に 1 人は高齢者だ。

年金は少ないし、高齢者となっても働く必要がある、という人もいるだろう。またお国では一億総活躍社会と言って、引き籠っている老人を非国民とまではいわないが、社会に貢献していない、少しは働けと無言の圧力をかけている。家に居れば奥さんに「邪魔だからどこか働きに出て」と命じられるご主人もいる。高齢になっても様々な理由で組織に属して活動している人は少なくない。それなりに社会のお役にたっているのに、若い人に老害と批難されるのでは立つ瀬がない。組織においては、よく働く人 2 割、そこそこ働く人 6 割、働かないで足を引っ張る人 2 割という割合だそう。この割合は年齢には関係がない。余談であるが働き蟻の集団も全員が同じように働くのではなく上記の 2・6・2 の割合になるそう。そして働かない蟻だけの集団を作ると、やはり 2・6・2 の割合に落ち着くとか。

■世代間の軋轢

老害の反対語は「この頃の若い者は」だそう。老人は 5 千年前から同じセリフを吐いていたらしい。世代間の軋轢は昔からあったが、ほんの百年前は老人の数が少なかったから、老人の蔑称である老害はあまり使われていなかった。人生七十 古来稀な

り、ほとんど老人がいない世であれば老人には希少価値が付く。供給が少なれば価値が上がるは経済学の常識だ。ネットや書籍のない時代には古老の話に若者は耳を傾けた。つまり老



人の話に需要があった。老人敬うべし、は経済原則から言ってもごく当たり前だった。今のように 3 人に 1 人弱が老人となれば、供給過剰で価値が下がる。スマホもパソコンも使えない、と若い人は老人をバカにする。現役の頃、新入社員に「パソコンのない時代、どうやって仕事していたんですか」と聞かれて答えに詰まったことがある。オレの若い頃はナー、算盤で決算書を作ったもんだよ、女子社員も深夜残業してナーなどと言えば感心してくれるどころか、そんな自慢話で存在感を示したいのか、と疎まれるのが関の山だ。自慢話をする老人に限って変にプライドが高いから、なんだー、お前はオレをバカにするのかー、とキレてしまう。昔は「切れる人」というと仕事ので

きる人のことを指したが、今は若者が老害の代名詞として使うようになった。

チェンライでは若い人と組んでやるのはテニスくらいだから若い人との軋轢が生じようがない。周りの邦人は同年配の人ばかり。利害関係がないし、お互い、職歴、学歴、ムシヨ歴等、個人的な話は話題に上らない。その人がいい人かどうかだけが付き合う基準となる。それに人間的に質のいい人ははまらず自慢話などしない。

「君子の交わり」をチェンライで実感するとは思ってもみなかった。



今年の敬老の集い & 餅つき大会などに御協力頂きましたアブ・アリプロジェクトさんを紹介します♠♠♠♠♠♠♠♠♠♠



村落教育と開発のためのアブ・アリプロジェクト

タイ北部の山岳国境地域には、それぞれ独自の文化や伝統を持つ、山岳民族と呼ばれる人たちが暮らしています。かつては豊富な山の恵みの中で、衣食住をすべて自分でまかなう自給自足の生活を営んできましたが、近年、貨幣経済や外来文化の流入により、彼らの生活は大きく変容しています。特に大きな問題として挙げられるのは、タイ国民の証であり、各種の保障を受けるために必須である ID カードの習得率の低さです。

さまざまな障壁により、全ての山岳民族の中で ID カードを保有している人は、彼らのうちの半数程度にとどまっていますが、正確な調査がなされていないため、現状は明らかになっていません。ID カードがないことで、山岳民族は無国籍状態にあり、日常生活全般、特に教育や雇用において、低地タイ民族と比べて圧倒的に不利な状況におかれています。法律上非常に不安定な山岳民族の立場と現状を踏まえた上で、「村落教育と開発のためのアブ・アリプロジェクト (ABL)」は自らも山岳民族 (アカ族) であるアリヤを代表に、コミュニティーの自立を目指した地域密着型の NGO として、1996年に活動を開始しました。↓



ABL の活動は主に4つの柱から成り立っています。

1. 村落教育（寄宿舎「スーフアン：夢の家」の運営）
2. 伝統文化の保存と異文化交流
3. 環境保全（棚田づくりの奨励、森林保全活動、有機農業）
4. 手仕事を活用した副収入源の確保（手織りや刺繍、草木染等の技術向上）

ABL は地域のニーズを把握してその時その時の現状に合わせた、柔軟性に富んだ活動を行っています。山岳民族の子どもや青年たちとともに、村の将来を見据え、確かな知識としっかりした経験を持つリーダーを育成することで、コミュニティーの未来を切り開いていきたいと考えています。当プロジェクトに興味を持たれた方や、ご意見、ご質問がある方は、下記までご連絡ください。（日本語可）

アリヤ・ラッタナウィチャイクン（ABL 代表）

341 Mool, Ban Noangdan, Soi 11, T. Robwiang, A. Muang, Chiang Rai 57000 Thailand

電話； 081 - 020 - 0377 E-mail: ariyacmr@gmail.com ライン： abuali2512

取引銀行；KASIKORNBANK A/C No.154-2-72007-3A/C NAME； Khroong kaan Abu-Ali

教育と開発のためのアブ・アリ プロジェクト

